渡辺学園創立140周年記念館 完成

学生の多様なニーズに対応

設計監理／石本建築事務所　施工／清水建設



東京家政大学をはじめとする教育機関を運営する渡辺学園（井上俊哉理事長）が東京都板橋区の板橋キャンパス内で建設を進めてきた「140周年記念館」が完成した。学園の伝統を生かしながら、学生の今を未来へとつなぐ機能を一つに集約した建物は、設計監理を石本建築事務所（東京都千代田区、長尾昌高社長）、施工を清水建設が担当した。



メッセージ

学校法人 渡辺学園理事長兼
東京家政大学 学長
井上　俊哉

伝統、現在、未来をつなぐ施設に

渡辺学園が2021年４月に迎えた創立140周年を記念し、板橋キャンパスで計画を進めてきた「渡辺学園創立140周年記念館」がこのたび、念願の完成を迎えることができました。24年に示した「東京家政大学ビジョン150」で、本学の存在意義（パーパス）として掲げた「知と技で自他の可能性を広げ、人がつながる社会の起点となる。」を具現化する施設となります。

本記念館の活用に向けて本学では、パーパスにもある「人がつながる」を特に意識しています。キャンパス内の別の場所にあった博物館を移設して本学の伝統を示すとともに、大屋根のある「つなぐ広場」で、学生の活動を伝えるイベントを開催できるよう計画しています。また、学生が主体的に学べるラーニング・コモンズとなる「ルミナスガーデン」（５階）や、３Ｄプリンターなどのデジタル・クリエーティブ設備を駆使して自由な活動を行うことができる「ものづくりガーデン」（６階）、「イマジネーションガーデン」（７階）を設けています。

まさに本学の伝統を生かしつつ、学生の今を未来へとつなぐ機能を一つに集約したのが、本記念館です。８階の「クロスメディアガーデン」には、２×7.2mの大きなＬＥＤモニターを設け、狭山キャンパスとも合同で授業を行うなど、場所を越えたつながりも意識しています。世界ともつながり、対話が重ねられるよう、この機能を生かしていく構想があります。

26年４月の学科等再編で新設した「共創デザイン学部」、二つの「学環」に加え、既存学部を含めた学生が自由に使える場所として、本記念館があります。グループでの活動を基本にしながらも、例えば資格取得に向けて集中して勉強するなど、学生の多様なニーズに応えていけるよう工夫しています。つなぐ広場では、ファッションショーや演奏会など、さまざまなイベントも企画し、充実した活動に役立てていきたいと考えています。

キャンパスのほぼ中央に位置する本記念館が、キャンパスに通う幼稚園児から中高生、大学生まで幅広い年代に親しまれ、さらに、博物館を中心として地域の方々にも開かれた場所となるよう、活用を図っていく所存です。



博物館ロビー



博物館展示室



ルミナスガーデン



木目を転写したRC打放



設計コンセプト

株式会社
石本建築事務所
大橋　航

ワクワクする場所をシンボルとして

140周年記念館に求められたのは、大学が歩んできた140年と、これから切り開いていく未来、その両方を受け止める場所でした。

私たちは「時間」を主題に据えました。歴史を伝え守る塊としての博物館が「伝統」を、学生の居場所となり新たな出会いを生む大屋根が「現在」を、新しい学びの像を見出す上層のフロアが「未来」を担います。性格の異なる三つの場を重ね、時間の積層をそのまま建築の姿としました。何かここで新しいことをしたくなる。三つの場がひとつとなり、そんなワクワク感の起点となる新しいシンボルを目指しました。

ランドスケープと一体に建物を計画することにより、これまでキャンパスの中でぽっかりと空いていた場所を、中高・大学・地域からの動線が交わる、キャンパスの新しい「へそ」に変えました。敷地の高低差をつなぐ大階段はそのまま大屋根の中に流れ込むことで、原っぱと屋根の下をひと続きにし、客席にもステージにもなる場をつくります。学園祭や地域とのイベントにとどまらず、日々の学生たちの居場所となります。

博物館部分は、学園が保有する重要有形民俗文化財である裁縫雛形2290点等からなる「渡辺学園裁縫雛形コレクション」を収蔵・公開すると共に、文化財保護法53条による公開が可能な本格的な博物館機能を有します。

上層部の柔らかなプリーツを思わせる外皮が、新たな知・学びを耕す場をドレープのように包み込みます。光を柔らかく内部に取り込むとともに、壁と開口の繰り返しが、街やキャンパスへの開放感のある眺めをつくります。

また、トップクラスの環境性能を実現しており、BEI値は0.39（ZEB Ready相当）となっています。

大屋根の下には、大学の歩んできた年数にちなんで140の光がきらめき、ここを日々利用する学生たちを優しく見守ります。この建築のもとで繰り広げられる様々な活動が、新しい学園の風景となっていくことを願っています。

工事概要

■工事名称：東京家政大学140周年記念館新築工事
■工事場所：東京都北区十条台２－1895他
■事 業 主：学校法人渡辺学園
■設計監理：株式会社石本建築事務所
■施 工 者：清水建設株式会社
■建築面積：2,195.70㎡
■延床面積：7,598.16㎡
■構　　造：Ｓ造一部ＳＲＣ造
■階　　数：地上８階
■工　　期：2024年６月～2026年10月

撮影／阿野太一



人・風・水の流れを受け止める大屋根



施工のポイント

日々のあいさつ、声掛け合いを積極的に行いチームワーク醸成

清水建設株式会社
東京家政大学板橋校舎140周年記念館建設工事所長　**糸魚川　博**

今回、現場スローガンに「元気なあいさつ、つながる気持ち、情熱かけて、モノづくり」を掲げました。あいさつを通じて所属会社の異なる作業員の皆さんが顔見知りになれば、お互いに助け合える関係性を築けます。あいさつも、「おはよう」「お疲れ様」だけでなく、作業場で「今日、こんな作業するのでよろしく」「ここに材料を置かせてもらいます」など、前日打合せた内容を現地で再確認する声掛けが、安全上とても大事だと考えています。そうした意識で作業所内でのチームワークを醸成し、全工事期間を休業災害ゼロで乗り切ることができました。

計画建物は、８階建ての高層棟と、大屋根テラスの２棟で構成されています。

８階建ての建物は、基礎RC、低層階SRC、高層階S構造です。鉄骨建方時は、建て方と同時に節ごとに外周足場を架設し、作業員の安全を確保するとともに、敷地外への飛来・落下が絶対に起きないように計画・実施しました。また、計画段階で事前に構造検証を行い、最上階のコンクリートを先行打設、雨天時も躯体工事が行えるように、天候に左右されない作業環境を整えました。

高層棟においては博物館として利用する低層階の外装に、ラーチ材を型枠材として使い、木目をコンクリートに転写しています。コンクリートの打放しは一発勝負です。細心の注意を払い所員総出で施工しました。コンクリートの色味は生コン工場の違いによっても差が出るため、試験施工を経てひとつのプラントに絞りました。また、打設当日はコールドジョイントの対策として時間管理を徹底しました。

隣接する大屋根テラスはS構造です。高低差のある凹凸形状の屋根は直径44㍍あり、この複雑な形状を実現するため、ＢＩＭをフル活用し鉄骨、母屋・屋根材、金物の納まりを検討し図面化しました。屋根材を支える母屋材には総数７４５本の角材（１０５×90程度）を使い、全数屋根の勾配に合わせて屋根材の設置面を勾配加工しました。屋根材も同様に、工場でプレカットし現場での加工を最小限に抑え、作業の手間を減らすとともに、運送効率を上げ、作業場での廃棄材を抑制する事ができました。

働き方改革の取り組みの一例として、朝礼動画配信を採用しました。作業開始の８時までに各グループで動画を視聴することで、８時丁度に作業に取り掛かれ、作業時間の確保、生産性向上につなげました。

また、連絡アプリを活用し、職長全員と迅速にタイムリーに情報を共有する事ができ、学校行事に支障をきたす事なく工事を進める事ができました。

結びに、全工期28・5カ月間、発注者を含む、関係者皆さんのご理解とご協力で、この度、工事を無事に終えることができました。この場を借りて御礼申し上げます。

施工　清水建設株式会社
東京支店
東京都中央区京橋 2-16-1-14
電話 03(3561)3700

電気設備工事　中央電気工事株式会社
東京支社　東京都新宿区新宿 5-7-17　電話 03(3341)0193

空調設備工事　株式会社 中電工
東京本部　東京都新宿区西新宿 5-1-1　電話 03(6300)0680

給排水設備工事　たてものを、いきものに　LIVZON 大成温調株式会社
東京都品川区広町 2-1-21　電話 03(5742)7311

祝　完成

■黒板工事　株式会社 青井黒板製作所 東京支店　東京都中野区新井1-1-5　電話 03(3387)3330
■左官工事　生島工業 株式会社　東京都足立区辰沼1-8-11　電話 03(5856)0006
■内装仕上工事(床・クロス)　株式会社 池袋松屋　東京都中央区京橋1-14-7　電話 03(5250)7811
■鉄筋工事　永和産業 株式会社　東京都江戸川区東葛西6-23-2　電話 03(3687)2281
■ガラス工事　沖ガラス 株式会社　東京都墨田区本所4-19-3　電話 03(5637)7480
■金属工事　キンキテック 株式会社 東京営業所　東京都江東区冬木6-3　電話 03(5646)5812
■アスファルトシングル葺き　桑原建材 株式会社　東京都千代田区西神田2-8-5　電話 03(6411)0073
■サイン工事　株式会社 KOYAMA　東京都足立区千住緑町1-15-1　電話 03(5284)3310
■塗装工事　佐藤興業 株式会社　東京都千代田区神田駿河台2-9-1　電話 03(3294)1981
■アルミ製建具工事　三協立山 株式会社 三協アルミ社　東京都中野区中央1-38-1　電話 03(5348)0380
■鋼製建具・シャッター工事　三和シヤッター工業 株式会社　東京都渋谷区代々木4-30-3　電話 03(6833)0692
■床表面強化剤工事　シーゲイト 株式会社　横浜市栄区小菅ケ谷4-28-19　電話 045(392)7810
■木工事　株式会社 篠原商店　東京都練馬区下石神井5-13-2　電話 03(3995)7288
■デッキプレート・金物工事　シマ建材工業 株式会社　東京都台東区上野7-12-13　電話 03(5828)6131
■金属工事　株式会社 大黒屋　埼玉県所沢市東所沢和田3-22-11　電話 04(2944)5450
■養生・クリーニング工事　東海ビコー 株式会社　東京都中央区新川2-24-2　電話 03(6858)1000
■杭工事　株式会社 トーヨーアサノ　東京都新宿区新宿5-13-9　電話 03(3356)3171
■研り工事　株式会社 中橋工務店　東京都墨田区向島3-2-2　電話 03(3622)1111
■外構工事　日本道路 株式会社 城北営業所　東京都練馬区高松5-11-26　電話 03(6913)4375
■仮設電気工事　橋本電気 株式会社　東京都豊島区北大塚2-20-4　電話 03(3915)3121
■鉄骨工事　阪和興業 株式会社　東京都中央区築地1-13-1　電話 03(3544)2961
■型枠・コンクリート圧送工事　ヘライ建設 株式会社　埼玉県越谷市南越谷4-17-5　電話 048(985)7771
■タイル工事　マルニシテグラ 株式会社　東京都中央区日本橋蛎殻町1-3-2　電話 03(3666)6311